

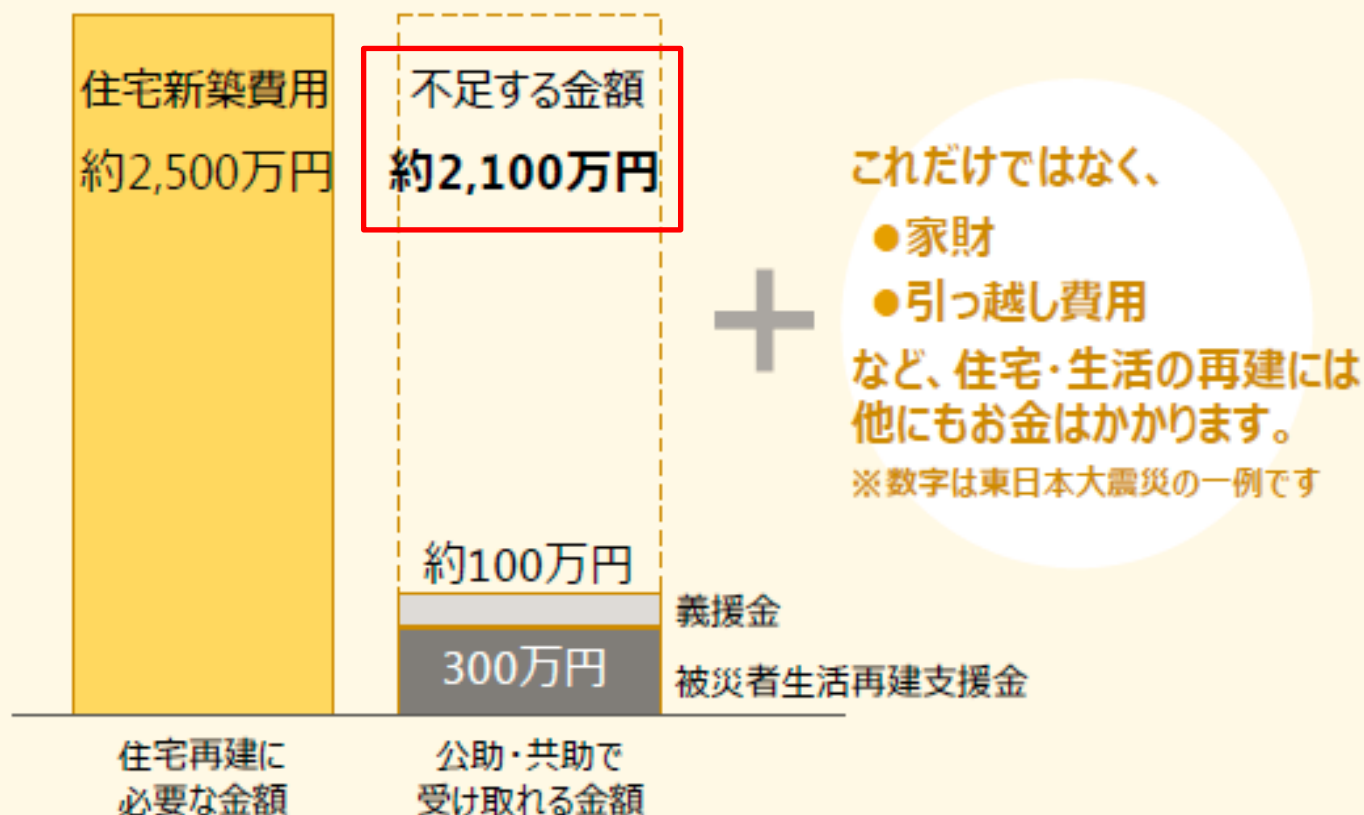
生活再建に必要な費用 ～自助による備えも重要です～

住宅が被害を受けた場合、公的な支援金や善意による義援金だけでは、修理や建て替えに不十分な場合があります。いざという時にスムーズに住宅・生活を再建するために、保険・共済に加入するなど、『自助』による備えも重要となります。

「全壊」被害からの住宅再建にはこれだけお金がかかる

東日本大震災で全壊被害に遭った住宅の新築費用は、平均して約2,500万円です。それに対して公的支援として受給できるのは、善意による義援金をあわせても約400万円にとどまりました。

今後発生が危惧されている南海トラフ巨大地震では、推定全壊住宅は **約238.6万棟** となり、東日本大震災の約20倍になるとされています。



- ・「半壊」世帯には、災害救助法に基づき、57.4万円を限度として市町村が応急修理を行います。
- ・災害復興住宅融資制度による低利融資は、「一部損壊」でも受けられます。